

平成30年度地域づくり懇談会 主な意見

開催日: 10月9日(火)

会場: 酒屋コミュニティセンター

参加者数: 16人

参加者の発言	市の発言	備考
<p>市立三次中央病院について、サービス残業が多いとよく聞く。また、医療系の人々の離職率はどうか。看護師も大変だと思うが、職員は十分に足りているのか。患者何人に対して看護師が何人というのは病院側で上手く操作すればなんとでもなるのではないか。</p>	<p>医師については、広島大学医局からの派遣となっており、現在73人いる。明日から血液内科も2週間に1回新たに開設する。合併当初は40人台であり、73人というのは、350床の病院としては、倍以上の医師を確保ができていていると思っている。看護師については、隣接する看護学校を中心に、毎年10数人採用している。出産で産休・育休に入ったり、結婚での転出などで離職があるという事は事実だが、離職率は高くないと思っている。市立三次中央病院では、患者7人に対して看護師1人という7:1配置基準で看護師を確保してきており、看護師の対応はできていていると思っている。技師については病院側の意向で採用しており、総じて病院の体制はできていていると思っている。</p>	
<p>定住について提言したい。酒屋にも耕作放棄地と空き家が多くある。庭先の農地は少しなら良いが、2〜3反だと手に負えないのであきらめるという事がある。農地が10アール以上ないと購入できないので、下限値を下げて、3〜4畝くらいの農地は、宅地と一緒に購入でき、家庭菜園を楽しみながら定住していただくことができるような制度の導入ができないか。</p>	<p>法的な根拠に基づいた農地の転用や取得になると、10アールが県内ほとんどの市町の基準になる。農地法では50アールだが、農業委員会の判断で下げることができ、現在は10アールとしている。農業委員会としては農地を守るといふ事があるので、10アールを細分化して1アール、2アールにした場合、農地を守れるのかという難しい判断がある。現在は、賃借ならできるため、定住で三次に住まわれることになった場合、10アール未満のところについては、賃借で対応しており、農業委員会でもそのように説明している。施策としての下限の見直しについては、10アール未満の農地のある空き家が多くあり、希望される方が多く待っているという状況が出てくれば、今後、市の施策として農業委員会に依頼し、農業委員会で判断するという流れになる。現在、小さな農地が付いている空き家は、空き家バンク等問い合わせが数件ある中で、今後、協議を進めながら判断したい。</p>	
<p>定住について、酒屋でも田であったところに多く家が建ち始めた。酒屋は川が小さい。今回、大雨が降り、川が氾濫したという事もあるが、今まで、普通でも川が氾濫し、土砂が入る。三次ワイナリーの下流の川は法面の草も刈られておらず、なかなかきれいにならない。イノシシやシカも出る。大雨どうのこうのではなく、いつも川が崩れるので、地域づくり、都市計画を考えられたほうがよいのではないか。住宅が増えてくると水も出る。県、市を問わず計画は何もないのか。</p>	<p>三次ワイナリーの西側で、片丘川の本流になるが、今回、災害がゴルフ練習場付近であったと認識している。管理は県で、災害復旧も担当している。片丘川は、下流の成光池の手前の片丘川放水路で水がはければ市街地には多くの水量は流れないが、上流側は、河川改修ができておらず、堆積土もあるため、急激な雨の際には氾濫する事がある。県にも浚渫等の要望はしていく予定である。広島県が最終的に河川の断面を改修するとなると、大きさを決めていくことになる。全ての河川を市が管理するわけにはいかない。それぞれを管理する国、県に要望していくことになる。</p>	
<p>現在、中学校学区制が廃止されている。酒河小学校を卒業すると、主には十日市中学校、八次中学校、最近塩町中学校に通学する生徒が多くなっている。新しく地域へ定住された方と付き合いが出来るのが小学生の期間だけである。十日市中学校以外の学校に進まれた方との交流が難しくなっている。それらを解消するよい方法はないかと考えている。まちづくりに支障をきたしている。いい考えがあれば教えていただきたい。</p>	<p>市では通学区域の自由化制度を設けている。小学校と中学校入学時、転入時に選ぶことができる。例えば、子どもたちが中学校に入学する時、自分がやりたいクラブがある場合、自分の思いをかなえたいという思いを持った時、保護者と相談する中で、他の中学校を選択することができる。申請していただく際、デメリットも保護者に伝えている。自分の住む地域と希薄になることがあるので、地域の行事を大事にして積極的に参加してほしいということや地域の中で子育てをしていただいている面もあるのでそれを忘れないでくださいという事を伝えて選択していただいている。子どもの思いを大事にして育てていくことがポイントと考える。地域の教育力は大きな力を持っていると思うので、そういう子どもについても保護者も含めて、地域でも行事参加への配慮や声掛けをお願いしたい。</p>	

平成30年度地域づくり懇談会 主な意見

開催日: 10月9日(火)

会場: 酒屋コミュニティセンター

参加者数: 16人

参加者の発言	市の発言	備考
<p>酒屋に限らず、三次には全国でも珍しい地層がたくさんある。三次ワイナリーの南側には、海底地すべり構造の地層があるが、カヤが茂り、看板しか見ることができない。その奥には、県の天然記念物になっている松尾の地層があるが、看板だけで何も見えない。もう一つ、元の酒屋小学校の斜め前の海底が盛り上がったところでは、貝の化石がたくさん出る地層があるが、これも看板だけで、何がどこにあるのか全く分からない。こういった場所を整備していただいて、三次の観光の目玉として活用できないか。</p>	<p>・文化庁からも文化財、天然記念物の活用について言われている。今までは、文化財は保存することを中心に行ってきたが、2年くらい前から文化庁でも、文化財をしっかり活用するという考えになった。案内看板等については、この3年間で整備をした。昨年も市全体では、文化財の説明看板10基、案内看板6基など、450万円あまりをかけて整備してきたが、日頃の管理については、課題になっているところもある。草刈りを行っている古墳もあるが、全ての文化財に行き届いていない。今後について、地元で整備をお手伝いできるという事があれば教育委員会に連絡していただき、地域と一緒に活用を考えていきたい。</p> <p>・三次市には、旧三次だけでなく双三郡の自治体にも隆起して貝など色々なものが出る地層があることについては承知している。ただ、古墳については、県内12,000ほどある中、3分の1の約4,000ほどが三次にある。昨年度から正規の職員も採用し、広島県のOBも採用し、文化財に係る業務を4人体制で積極的にやろうとしている。一度にはできないが、20数年放置されていた寺町廃寺について、事業を見直し、再開していこうとしており、4人体制で市としては力を入れていると思っている。提起された点も将来にわたって大事なことなので、問題意識は持っている。決してないがしろにはしていない。</p>	
<p>7月豪雨災害時には、トイレ、水道、照明のあるみよし運動公園に避難者がたくさん来られた。もう一つ、酒屋憩いの森に新しく駐車場を整備されたが、そこにも避難される可能性があるため、防災と絡めて、同じようにトイレや水道、照明が整備できないか。そうすることにより、酒屋憩いの森の活用の範囲が広がると考える。</p>	<p>憩いの森については、いざという場合、駐車場として使えるように整備した。酒屋エリアの憩いの森は土地開発公社が持っていた土地を8億円程で土地開発公社から買った。高いお金をかけて購入したもので、将来設計を立てながら十分に生かしていきたい。</p>	
<p>酒屋ではほとんどで道の端を草刈りをしなければいけない。溝もきれいにできていない。クリーンセンターに行く途中の道では、コンクリートをして草が生えないようにしてある。酒屋でも道路の端の方を草が生えないようにできないか。国道に近い所でも溝が整備できていないところもある。少しずつでも計画してやれば酒屋もきれいになる。三次ワイナリー、みよしアグリパークに行く周辺の道もきちんと整備してほしい。</p>	<p>・最近の道路改良は、先の維持管理のことを考え、防草コンクリートをやり始めたが、過去に行った道路改良では防草コンクリートは、まだ行っていない。道路新設の数が減れば、道路の維持に力を入れていかないといけないが、現時点では、新設以外は、余りにも危ない箇所以外は、防草コンクリートだけを行う事は少ない。将来の課題であると認識している。</p> <p>・将来の維持の姿として、当然、課題意識を持って取り組んでいかないといけない。一度にはできないことは承知いただきたい。市道の全延長が3,590路線程、キロ数にして1,830km程あるため、一気にやるのは大変である。今の計画では道路改良もしていかなければいけない。道路改良と併せて、将来の維持管理をいかに軽減させていかに力を入れている。道路改良が一段落すれば、集中的に、道路の除草の負担を減らすなどの維持管理をしていきたい。年次計画で考えていかないといけないと思っている。道路改良しなければならない件数がまだまだたくさんあり、除草には、地域で刈ってもらうもの、業者に委託するもの併せて年間1億円近くかかっている。防草コンクリート、排水路の整備、堆積土の浚渫など、距離が長く苦慮している。意見をいただいて、緊急性のあるところからやっていきたい。地域の皆さんと話をさせていただきたい。</p>	